

ネットワーク型高島地域創造塾





塾長 小村 秀蔵

■ 塾長コメント ■

高齢化が加速し人口減少に歯止めがかからない地域の問題は、長崎市に限らず全国的な課題となっています。

特に人口減少に関しては地域住民が地域の魅力に気付いていないことが、地域に誇りを持ってない現実を生み、魅力的と感じる場所に移住するのが一因です。そしてもう一つ大きな原因は「公共サービスを、様々な阻害要因によって受けられない。」という実情を踏まえて移住を決断する場合です。「公共サービスを受けられない。」という問題解決は、大き過ぎるテーマで塾活動で解決するのは困難と判断し、地域住民が地域に魅力を感じることが可能となる取り組みに的を絞り活動しました。

具体的には「地域の魅力を地域住民に知ってもらう活動」と「地域の魅力を外部に発信する活動」でした。1年という限られた時間の中で可能な成果を得ることができたと自負できる活動になったと考えています。塾活動は終了しますが、活動本体は今後も継続して行って参ります。

■ 塾の目的 ■

長崎市は、人口減少が進んでも暮らしやすいまちをつくるため、暮らしの機能を一定の

範囲に集めるとともに、公共交通などのネットワークで、暮らしの機能と市民が暮らす地区をつなぐ「ネットワーク型コンパクトシティ」構想を掲げています。

この構想にヒントを得て、人口減少と少子高齢化が特に加速する高島地域で実践活動を行うことで、住み続けたい地域、移住したくなる地域を創り出す手法を生み出し、ひいては長崎市内の他地域の課題解決にも一歩踏み出すことを目的としました。

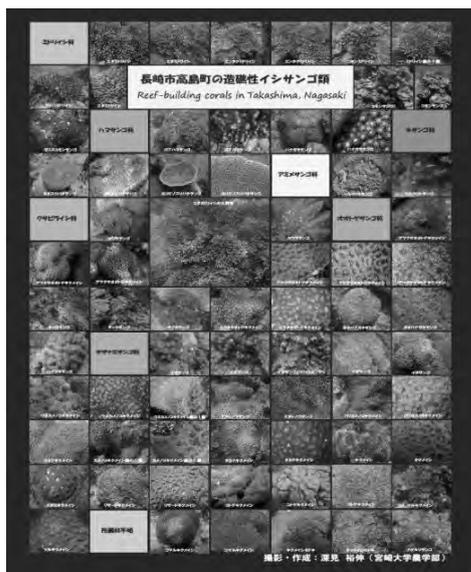
魅力ある地域の創造に必要なのは、地域の住民が地域に誇りを持てる地域であることが、必須条件だと述べましたが、長い間同じ地域に暮らしていると「世界遺産」、「歴史ある建造物」、「美しい自然とそこに自生する生き物やその生態」、「おもてなしの心溢れる地域住民」等のかげがえのない宝物が見えなくなる状況に陥ります。その状況の打破が目的達成への最短距離と結論付けました。

■ 塾の研究・活動内容 ■

ネットワーク型高島地域創造塾が取り組んだ研究・活動内容は、今ある地域資源を地域の住民に「外部から見た視点で考え、正当に評価できる環境構築」でした。長崎大学准教授や宮崎大学准教授を招聘し「地域の魅力講演会」を開催し、講演会に住民やマスコミに参加を促し、外部視点の地域の魅力を広く発信し、住民の意識改革に至る活動を行いました。同時に「農」とは無縁の地域に「農」の新しい地域資源開発にも取り組み、「農」資源の完成には残念ながら至らなかったものの、「農」資源開発の第一歩を踏み出しました。

■ 塾活動の成果 ■

長崎市内や長崎県内にとどまらず、全九州、全日本を視野に入れて「高島」が最大にアピールできる素材は海の中の世界にあります。世界的にも貴重な海中景観が、目の前の海の中に広がっていることを理解して頂く手法として、サンゴの専門家によるサンゴの生息域とサンゴの種類の特定を実施しました。



上記の写真は実際に高島海水浴場内に自生しているサンゴの写真です。

以下は平成 30 年 10 月 11 日に長崎新聞に掲載された記事の抜粋となります。

『長崎市高島町の海水浴場内に少なくとも 34 種類のサンゴが自生していることが、調査で判明した。種類を特定した宮崎大学深見裕伸准教授は「一般的に生息しにくい海水浴場でこれだけ豊富な種類がいるのは珍しい」と分析。サンゴは海中での光合成により地球温暖化の原因となる二酸化炭素の濃度を調整するが、近年は高水温などの環境変化で減少している。船で沖に出て見るのが一般的なサンゴを岸から直に見に行ける。』

○第 1 回地域の魅力講演会の開催

11 月 10 日（土）高島ふれあいセンターホールにおいて、長崎大学多文化社会学部の増田研准教授を講師にお招きし、第 1 回地域の魅力講演会を開催。終了後は全員で海浜清掃活動を実施しました。

○高島川柳コンテストの開催

12 月 7 日から 3 日間、高島の地域資源 20 カ所に投句箱を設置し川柳コンテストを実施。

○塾活動の広報

400 を超える方々に高島の地域資源を広報することと、「塾」活動の内容を伝えるため、1 月 8 日から様々な準備を行い、1 月 14 日にダイレクトメールを発送しました。

○塾活動の広報

1 月 15 日から神奈川県横浜市、東京都千代田区、新潟県新潟市にある旅行会社を訪問。高島地域の地域資源調査を行った「ネットワーク型高島地域創造」の活動成果を情報提供し同時に修学旅行のアプローチを行いました。

○第 2 回地域の魅力講演会の開催

2 月 19（火）高島ふれあいセンターホールにおいて、宮崎大学農学部の深見裕伸准教授を講師にお招きし、第 2 回地域の魅力講演会を開催しました。



ネットワーク型高島地域創造塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
平成 30 年		
5 月 23 日(水)	長崎歴史文化博物館	長崎伝習所「塾」開所式、第 1 回 塾会議
6 月 10 日(日)	高島町全域	第 2 回塾会議 地域資源調査、海中サンゴ資源調査
6 月 18 日(月)	町内塾事務所、地域センター	ながさきドローン塾との塾間交流打合せ
7 月 15 日(日)	高島町全域	ながさきドローン塾との塾間交流会の開催
7 月 15 日(日)	高島町全域	第 3 回塾会議 地域資源調査、海中サンゴ資源調査
10 月 01 日(月)	高島町福祉農園、事務所、等	ネットワーク型高島地域創造塾運営会議
10 月 15 日(月)	高島町全域	塾会議および福祉農園活用を専門家と打合せ
10 月 16 日(火)	高島町福祉農園、事務所、等	地域資源活用に関して専門家の視察・調査・打合せ
10 月 19 日(金)	高島町福祉農園、事務所、等	地域資源活用に関して専門家の視察・調査・打合せ
10 月 22 日(月)	高島町福祉農園、事務所、等	地域資源活用に関して専門家の視察・調査・打合せ
10 月 26 日(金)	高島町福祉農園、事務所、等	地域資源活用に関して専門家の視察・調査・打合せ
10 月 27 日(土)	高島町福祉農園、事務所、等	地域資源活用に関して専門家の視察・調査・打合せ
10 月 30 日(火)	高島町福祉農園、事務所、等	地域資源活用に関して専門家の視察・調査・打合せ
11 月 01 日(木)	町内塾事務所、地域センター	塾会議および講演会準備他の打合せ
11 月 01 日(木)	高島町全域	地域センターだよりに掲載し、講演会の開催を広報
11 月 10 日(土)	高島ふれあいセンター	「第 1 回地域の魅力講演会」の実施
11 月 10 日(土)	高島ふれあいセンター	講演会に出席した地域住民の意識調査を実施
11 月 10 日(土)	高島海水浴場内施設全域	塾生と長崎大学准教授とゼミ生を交え海浜清掃活動
11 月 15 日(木)	町内塾事務所、地域センター	塾会議および講演会準備他の打合せ
12 月 01 日(土)	町内塾事務所、地域センター	塾会議および講演会準備他の打合せ
12 月 07 日(金) ～ 12 月 11 日(火)	高島町全域	川柳コンテスト準備、打合せ、開催、集計、掲示 (主催：やたらろう de 高島、共催：ネットワーク型 高島地域創造塾)
12 月 15 日(土)	町内塾事務所、地域センター	地域センターだよりに掲載し、講演会の開催を広報
12 月 16 日(日)	高島町全域	「第 2 回地域の魅力講演会」の準備

日 時	場 所	内 容
平成 30 年～平成 31 年		
12月17日(月) ～ 12月25日(火)	町内塾事務所、地域センター	「第2回地域の魅力講演会」の準備
1月07日(月)	町内塾事務所、地域センター	塾会議および講演会準備他の打合せ
1月08日(火) ～ 1月14日(月)	町内塾事務所、地域センター	塾活動の広報活動(DM 郵送準備および郵送)
1月15日(火)	町内塾事務所、地域センター	塾会議および講演会準備他の打合せ
1月15日(火) ～ 1月15日(火)	神奈川県横浜市 東京都千代田区 新潟県新潟市	地域資源PR活動 アクセスに関する情報提供、利用可能な施設と費用、 提供可能なサービス情報の提供、および打合せ。
2月01日(金)	町内塾事務所、地域センター	塾会議および講演会準備他の打合せ
2月15日(金)	町内塾事務所、地域センター	塾会議および講演会準備他の打合せ
2月18日(月) ～ 2月19日(火)	町内塾事務所、地域センター	講師受入れと下見および打合せ 第二回地域の魅力講演会の開催 来場者リストの作成とアンケートの実施
3月01日(金)	町内塾事務所、地域センター	塾会議および講演会準備他の打合せ
3月11日(月) ～ 3月12日(火)	長崎市街地	長崎県内グリーンツーリズム団体に対して実施 地域資源PR活動・塾活動のPR 提供可能なサービス情報の提供、および打合せ
3月15日(金)	町内塾事務所、地域センター	塾会議および講演会準備他の打合せ
3月21日 (木・祝)	ベルナード観光通り	長崎伝習所まつり パネル展示、アンケート、映像による活動のPR 地域ミュージシャン演奏会、

地域資源調査

平成 30 年 6 月 10 日塾長と塾生が参加。高島地区を実際に移動しながら地域資源調査を行った。世界文化遺産である北溪井坑跡、グラバー別邸跡、石炭資料館等の歴史的な地域資源や糖度の高いトマト栽培、陸上養殖施設によるヒラメの養殖、等の新産業資源やスパ施設、海水浴場キャンプ場等の観光資源、海中景観やポールウォーキング等の観光資源の調査を行った。



長崎市高島町全景（航空写真）

新地域資源の創造

高島に元々興味を持ち、カメラのフレームを通して、記録を取り続けてきた写真家鵜沼氏は農家の出身。閉山後の高島の環境を「フルーツアイランド高島」構想に発展させ、福祉農園が島民の真の福祉に役立つと考え、果物の栽培可能な環境構築に着手した。

当塾は鵜沼氏の構想に賛同、以前から講師として招聘していた大串氏と時を合わせて、講演会および勉強会や講演を実施した。



鵜沼氏講演風景

「塾」間交流の実施

7月15日に「長崎ドローン塾」との交流を実施。高島町でドローンの飛行を行う活動をドローン塾が実施するに際して、飛行許可という大きな問題が浮上。その障害を乗り越え「長崎ドローン塾」と「ネットワーク型高島地域創造塾」との塾交流を実施した。



大串氏講演風景

地域資源としての「農」がそもそも存在しない(農家も農民も農地も存在しない)高島。新たな資源想像に着手する活動となった。

第1回地域の魅力講演会の実施

長崎大学多文化社会学部の増田准教授をお招きし、高島ふれあい地域センターホールにて、11月10日に「第1回地域の魅力講演会」を実施した。塾長、副塾長、事務局、塾生はもとより、増田准教授のゼミ生や町民も参加する講演会となった。石炭産業隆盛期以前の高島の産業や人口を算出根拠として、今後の高島の未来像に対する講演が行われた。

他の「長崎市の離島と比較した場合の未来は決して暗い未来ではない。」との講師の言葉に町民は励ましを受けた様子だった。



講演終了後の記録写真

講演会終了後は高島海水浴場の清掃活動を、塾生全員で実施した。



海浜清掃活動記録写真

昼食休憩後、講師増田准教授を中心に今後の高島地域の可能性について検討した。



高島地域資源活用検討会記録写真

さらに翌日は増田講師、塾生、ゼミ生が町内の地域資源を視察した。



タラソテラピー施設の視察



石炭資料館の視察

高島川柳コンテスト応援活動

歴史も自然も施設も実は充実している高島。しかし、町民にはその意識が不足しているという現状打破に向けて開催されている川柳コンテスト。わざわざ乗船券の料金を支払って投句に訪れる人も少なくはない。十八銀行や浜屋百貨店と地場の大手企業の他、島の企業や団体が20社協賛。3日間にわたって行われ作品の優劣を競った。

サクササク こたわりチース 半端ない！	命風 送りで石炭へ入る 北浜井塔	「お先です」 風呂出る言葉に 愛する	はんぶんこ ハートが2つ 里3つ	十八の 青きひかりは ふるさとよ	朝日浴び 波流れ星 艦隊の尾	「かわいいよ」 春の陣この クマノエが	あの世への お迎え願 予約なし	冬の島 プラネタリウムに ご招待	海渡る イノシシたちも 命かけ
エラこきやう？ 誰のあごが まなぶんぶん	大物だ かかったえものは 宝島	船着くと 麻ねご台唱 えさむくれ！	汽笛なる 海の青さや 軍艦島	雨の日も 休まず仕事 マジ感謝	島風と 一瞬に走るよ 赤いバス	レインボー みんなのころ どろつてる	愛いっばい おなかもいっばい ひらめ毒舌	星清華 島民連連化 猫増加	星空を 猫と見あげる ふるあがり

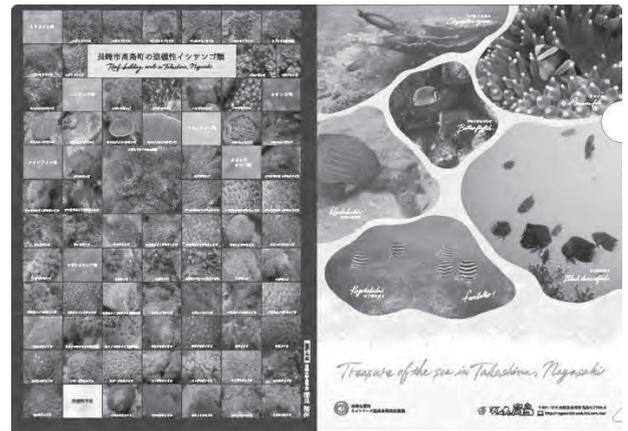
20のスポンサー別最優秀作品

第2回地域の魅力講演会の実施

宮崎大学農学部の深見准教授をお招きし、高島ふれあいセンターホールにて、2月19日に「第2回地域の魅力講演会」を実施した。塾生、地域住民、小中学生と教職員も参加。サンゴの専門家が特定したサンゴは34種類。熱心に聞き入っていた小中学生。鋭い質問も飛び出し講師も驚く場面があった。



高島に自生するサンゴの一覧表



成果物のクリアファイル

塾活動の発信事業1

平成31年1月8日から1月14日まで準備を進め、高島地域の地域資源を記載した塾活動PR用の書類を対応可能な塾生全員で作成。具体的にはこれまで「高島地域創造塾」で活動してきた内容を、今後の「塾」活動を継続していく地域おこし団体である「やったろう de 高島」の体験者名簿を活用して長崎市はもとより、長崎県内、長崎県外の多くの高島に興味を持って頂いている方々にダイレクトメール送付という手法で発信した。

塾活動の発信事業2

平成31年1月8日から3日間かけて、長崎空港から空路羽田へ移送。さらに陸路で横浜と新潟を移動。

神奈川県横浜市、東京都千代田区、新潟県新潟市を訪問。高島地域で体験可能な様々な体験メニューの記載されている「塾」の案内を、旅行会社(JTB)およびリピーターに発信する活動「修学旅行誘致」を目標に、行った。

第1回 地域の魅力講演会参加者アンケート集計 とき: H30.11.10 ところ: 高島ふれあいセンターホール
(出席者27名、アンケート回収17、回収率63.0%)

1. 参加者男女別・年齢別内訳

○性別

男	女	計
10	7	17

○年齢

10歳以下	10代	20代	30代	40代	50歳以上
		4	2	2	9

2. 高島にある下記の地域資源の内、ご存知のものの番号に○をして下さい。

名称	回答数	割合	名称	回答数	割合
1・岩崎弥太郎像	7	41.2%	10・北溪井坑跡	6	35.3%
2・石炭資料館	7	41.2%	11・グラバー別邸跡	6	35.3%
3・いやしの湯	8	47.1%	12・昔懐かしい赤ポスト	2	11.8%
4・コンニャク煉瓦	3	17.6%	13・権現山展望所	3	17.6%
5・しまの宿 五平太	6	35.3%	14・軍艦島の見える丘	2	11.8%
6・海水浴場キャンプ場	5	29.4%	15・市民農園	0	—
7・海水浴場内のサンゴ類	3	17.6%	16・たかしま農園(たかしまトマト)	2	11.8%
8・磯釣り公園	5	29.4%	17・福祉農園	2	11.8%
9・水産センター	5	29.4%	18・多目的運動公園	4	23.5%

3. 下記地域資源の内、活用不足と思われる番号に○をして下さい。□□□

名称	回答数	割合	名称	回答数	割合
1・岩崎弥太郎像	0	—	10・北溪井坑跡	4	23.5%
2・石炭資料館	2	11.8%	11・グラバー別邸跡	6	35.3%
3・いやしの湯	5	29.4%	12・昔懐かしい赤ポスト	0	—
4・コンニャク煉瓦	1	5.9%	13・権現山展望所	4	23.5%
5・しまの宿 五平太	3	17.6%	14・軍艦島の見える丘	2	11.8%
6・海水浴場キャンプ場	1	5.9%	15・市民農園	0	—
7・海水浴場内のサンゴ類	2	11.8%	16・たかしま農園(たかしまトマト)	0	—
8・磯釣り公園	1	5.9%	17・福祉農園	1	5.9%
9・水産センター	3	17.6%	18・多目的運動公園	5	29.4%

4. 上記以外で地域資源と思えるものがあれば記入してください。

長崎市から近郊にある離島(1)、高島教会(1)

5. 本日の講演会に出席された感想を教えてください。

区分	回答数	割合	区分	回答数	割合
1. とても良かった	13	76.5%	4. あまり良くなかった	0	—
2. 良かった	3	17.6%	5. その他	0	—
3. ふつう	1	5.9%			

*(記載された感想): 少子高齢化=悪ではないという視点、コミュニティの本来の意味

6. 高島町の活性化に大学教授や大学生が応援する事をどう考えますか?

区分	回答数	割合	区分	回答数	割合
1. とても嬉しい	13	76.5%	4. あまり好ましく思わない	0	—
2. 嬉しい	4	23.5%	5. その他	0	—
3. ふつう	0	—			

*(記載された感想): すべての地域において幅広い活動を行うのが望ましい。

7. 貴方自身の事を教えてください。

○高島にお住まいの方ですか

区分	回答数	割合
はい	10	58.8%
いいえ	7	41.2%

○高島在住の方に伺います。貴方は高島に住み続けたいですか

区分	回答数	割合
はい	10	100%
いいえ	0	—

第2回 地域の魅力講演会参加者アンケート集計 とき:H31.2.19 ところ:高島ふれあいセンターホール
(出席者32名、アンケート回収23、回収率71.9%)

1. 参加者男女別内訳

○男女別内訳

男	女	未記入	計
11	11	1	23

○年齢別内訳

10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未記入	計
1	7	2	1	4	5	1	1	1	23

○小中学生の内訳

小学生	中学生	計
3	2	5

2. どこから来ましたか

市内(島内)	市外(島外)	県内 (時津・長与)	県内 (その他)	県外	未記入	計
16	6	0	0	1	0	23

*県外は、福岡県

3. 高島海水浴場にサンゴが生息していることを知っていましたか

○知っていた

知っていた	知らない	その他	未記入	計
23	0	0	0	23

○知っていた方におたずねします。何十種類ものサンゴが生息していることを知っていましたか

知っていた	知らない	その他	未記入	計
20	3	0	0	23

4. 高島海水浴場でサンゴを見たことがありますか

ある	ない	その他	計
19	4	0	23

5. 高島海水浴場のサンゴは、高島の地域資源だと思いますか

思う	思わない	その他	計
23	0	0	23

6. 高島海水浴場のサンゴを島外の方にもPRしたいと思いますか

思う	思わない	その他	計
22	0	1	23

*その他は、PRが分からない。

7. SNS・ネットで高島海水浴場のサンゴや高島のことを発信しようと思いますか

思う	思わない	したことがある	未記入	計
14	7	1	1	23

*したことがある(している)は、インスタ。

ネットワーク型高島地域創造 感想

最初に残念な結果となった部分から記載。『「塾」開所当初に掲げた目標の一つに、「移住したくなる地域」を目指し』と記載したが、残念なことに「高島地域」に移住できる市営住宅は存在しない状況となっていた。市営の住宅ではなく、一般的な民家がほぼ無い状況の高島。移住先市営住宅が無いことで、遂行するのは不可能となった。

他方、塾活動全般を鑑みれば、多くのマスコミに取り上げられたり、何度も高島を訪問する町外のリピーター観光客に恵まれ、さらには外部から「塾」活動に賛同し自ら率先し応援するサポーターに恵まれた。

最も有意義な活動となったと考えているのは、大学との連携した活動で住民意識に変化が訪れたと思える部分。明らかに変化したのではないかと自負している。具体的には「第1回地域の魅力講演会」のアンケート結果で、講演会に出席した地域の参加者全員が、今後も住み続けたい。と回答した事で明白。

「塾」活動は終了するが、高島地域を良くしていく活動は終わらない。今後も高島地域の活性化に是非ご注目下さい。

(塾長：小村秀蔵)

夏休みシーズンは別として、高島に遊びに来てくれる人は少ないです。軍艦島クルーズが多くの乗船客を石炭資料館(入館無料)に案内している。しかしトイレを利用しゴミを置いて帰るだけです。経済効果には繋がっていません。ネットワーク型高島地域創造の試みがヒントになって多くの観光客が来る島になればと心から願ってやみません。

(副塾長：谷下秀行)

私は高島で仕事をしながら、休日などは海水浴場でシュノーケリングのインストラクターを行っています。この塾に参加して特に感じたことは、高島に住んでいる人には特に何も感じなかったことが、島外の塾生からみれば非常に興味深いものがたくさんということに気付きました。例えば、島内にある鉄製の丸型の郵便ポストですが、これは昭和33年に製造されたもので、何度もさび止めのペンキが塗られ表面も凸凹になっています。塾生の中には、この形のポストを初めて見たとか、現在も使用されていることに改めて驚いていました。このように何でもないようなことが、ひとつの地域資源となることをこの塾で学びました。今後も高島にたくさんの方が来てくれるようにいろいろな活動を続けたいと思います。

(竹本富彦)

今回この塾の最大の成果は高島海水浴場に生息しているサンゴの種類が特定されたことでしょう。以前から高島海水浴場は泳いですぐのところに、サンゴが生息していることは自分の目でも確認し分かっていましたが、サンゴの第一人者である宮崎大学の深見准教授のご協力により、サンゴの種類が特定されたこと、またその中には環境省のレッドリストに掲載されている「エダミドリイシ」というサンゴの大群落が確認されたことです。今後はこれを保護していくと共に高島の貴重な地域資源として活用していかなければなりません。子供達の体験学習の場にもなりそうです。

まだまだやることがたくさんある高島です。今後も応援していきたいと思います。

(事務局員：時田英治)

ネットワーク型高島地域創造塾

塾長	小村 秀蔵				
1	稗圃 喜朗	21		41	
2	大塚 千晶	22		42	
3	島 利江	23		43	
4	田川 守	24		44	
5	馬場 由香	25		45	
6	宮原 裕子	26		46	
7	谷下 秀行	27		47	
8	竹本 富彦	28		48	
9	川内 萌々子	29		49	
10	橋本 大聖	30		50	
11	古川 寛子	31		51	
12	堀川 みき	32		52	
13	福村 学	33		53	
14	村嶋 京子	34		54	
15		35		55	
16		36		56	
17		37		57	
18		38		58	
19		39		59	
20		40		事務局員	高島地域センター 時田 英治

